武蔵野市三鷹駅北口街づくりビジョン2027(案)　概要版

1　三鷹駅北口街づくりビジョンについて

【改定の背景と目的】

三鷹駅北口街づくりビジョン（平成29年５月）の策定から概ね10年が経過します。令和９年度末頃の補助幹線道路の相互通行化など、変わりゆく交通環境のなかで、三鷹駅北口周辺の街づくりについても新たな段階を迎えます。

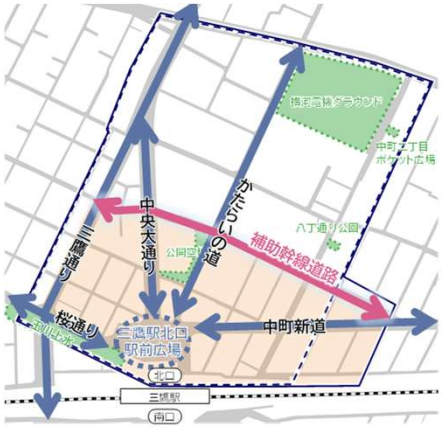
改めて、現況分析や取り巻く状況の変化の把握、これまでの取組みの振り返り等を行い、「目指す街の姿」とその実現に向けた取組みを定めるため、街づくりビジョンを改定します。

2017 ビジョン策定 → 2027 改定・補助幹線道路相互通行化（予定） → 2030年代後半 改定ビジョンの目標時期

※本改定の内容は、次期武蔵野市都市計画マスタープランの地域別方針に反映

【対象範囲】

□：街づくりビジョン2027対象範囲
■：歩行者中心の街づくりの区域



図：街づくりビジョンの対象範囲

2　街づくりの基本的な方向性

玉川上水をはじめとする豊かな緑と落ち着いた街並みは、三鷹駅北口の特徴の一つです。三鷹駅を玄関口とする中央地域には広範囲に目的地が分布し、駅から公共交通などを利用して移動する人が多く見られます。また、駅周辺には業務機能や居住機能が集積し、働く人や暮らす人の日常を支えています。近年は地元の方々が中心となった地域活動も広がり、駅前の公共空間のさらなる活用が期待されています。

こうした地域の特性や魅力を活かし、思わず立ち寄りたくなる居場所や、自分らしい時間を過ごしたくなる空間を広げます。そして、**誰もが心地よく、自分らしい時間を過ごせる街**を目指します。

目指す街の姿

過ごしたくなる街
～いつもの駅前に、いくつもの過ごし方を～

【目指す街の姿の実現に向けて】

目指す街の姿の実現に向け、土地利用や交通環境の改善を基盤としながら、地域資源を活かした取組みを進めます。

また、これらの取組みを通じて、公共空間や都市機能の形成・更新を図るとともに、地域活動を支える仕組みづくりを進めます。

３分野の施策を相互に連携させ、継続的に積み重ねることで、街の魅力や地域への愛着を高め、「過ごしたくなる街」の実現につなげます。



3　街づくりの取組み

【分野別の取組方針と施策】

目指す街の姿の実現のため、土地利用、交通環境、地域資源の３分野において、方向性を定め、以下の取組方針に基づき、施策を展開します。

土地利用

分野別の方向性	取組方針	施策
日常生活を豊かにする土地利用の誘導	機能導入 ① 「普段使いのまち」の質を向上させる用途・機能の集積	① 商業・業務用途の集積を維持し、建築物の用途の適正化を図る誘導
		② 必要な都市機能の導入に向けた開発誘導
		③ 災害時の備えの充実
	街並み形成 ② 歩行者にとって心地よく、落ち着いた街並みの形成	④ 居心地の良さを感じる景観形成
		⑤ 駅前の商業・業務地に相応しい建築物の形態及び意匠の制限・誘導

交通環境

分野別の方向性	取組方針	施策
人々が集える、安全で快適な歩行者環境の形成	車 ① 自動車の流れを変え、地域公共交通を優先した交通ネットワークの形成	① 地区内環状道路の構築
		② 駅前広場の段階的な機能向上
		③ 駐車需要への対応の推進
	人×車(自転車) ② 駅から周辺道路へつながる安全な歩行者環境の創出	④ 歩行者環境の向上
		⑤ 歩行者の通行を意識した自転車利用環境の向上
	人 ③ 通過する空間から人が佇み交流する空間への転換	⑥ ゆとりある空間の創出

地域資源

分野別の方向性	取組方針	施策
緑などの地域資源を活かした居場所と活動の育成	地域の価値向上 ① 緑、景観・文化資源の活用による地域の価値の向上	① 官民が連携した緑がつながる街並みづくり
		② 三鷹駅北口固有の景観・文化資源の活用、創出
	場づくり ② 地域ニーズに応える場所・余白づくり	③ 「佇む」から「集う」まで多様な活動を支える場所づくり
	活動促進 ③ 地域主体の活動促進	④ 地域活動・知的交流の基盤づくり
		⑤ 活動を促進する情報発信

4 将来イメージ

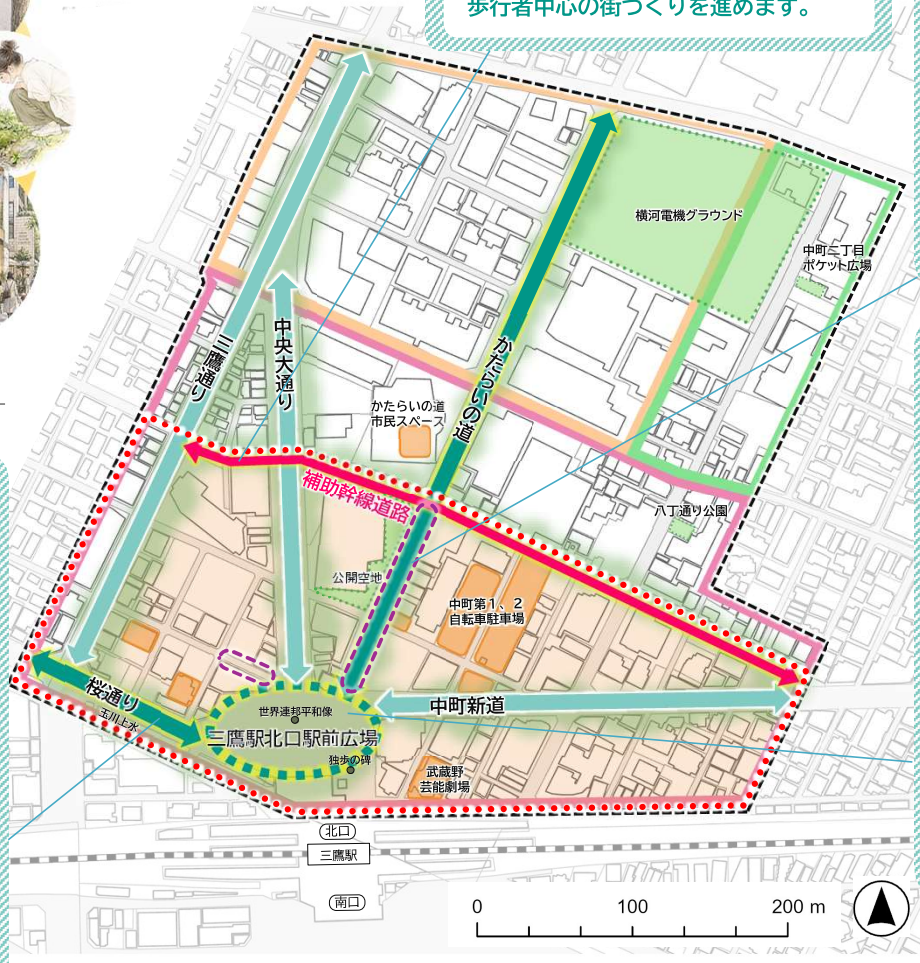
目指す街の姿の実現に向けて、土地利用、交通環境、地域資源の各分野における施策を連携的に展開することで、三鷹駅北口周辺が段階的に変化し、各々が、もっと“過ごしたくなる街”になることを目指します。

●三鷹駅北口周辺の将来のアクティビティイメージ



※イラストは、生成AIにより作成しています

●主な路線のイメージ



補助幹線道路

駅前広場の混雑と通過交通などの課題に対応するため、駅周辺の地区内環状道路である補助幹線道路の整備を推進します。補助幹線道路の南側では、歩行者中心の街づくりを進めます。

かたらいの道

歩行者中心の街づくりのなかでも歩行者軸として、緑を含めた連続性のある沿道の空間形成やかたらいの道沿道地などの活用により活動や交流を広げます。



三鷹駅北口駅前広場

中央地域の玄関口として、安全な通行を実現し、世界連邦平和像などの地域資源を活かした滞留機能を併せ持つ質の高い空間づくりを進めます。



桜通り

道路空間の再編による歩道の拡幅をきっかけに、玉川上水との一体化を図り、緑や水といった地域資源を活かした魅力ある空間づくりを沿道の土地利用も含めて進めます。



※あくまでイメージであり、実際と異なる場合があります

《凡例》

- ビジョン対象範囲
- 歩行者中心の街づくりの区域
- 市有地
- 公園・公開空地等
- 歩行者専用道路（将来）
- 商業・業務複合エリア
- 業務・住宅複合エリア
- 住宅・商業複合エリア
- 機能更新促進ゾーン
- にぎわい誘導軸（特定の路線）
- にぎわい誘導軸
- 連続性のある緑の形成（緑のネットワーク）

武蔵野市　都市整備部　まちづくり推進課
住所：〒180-8777 武蔵野市緑町２-２-28　　電話：0422-60-1872　　FAX：0422-51-9250
e-mail：sec-machidukuri@city.musashino.lg.jp